

令和 6 年度 中学部 2 年 ( II 課程 ) 国語科 年間指導計画

単位数 3/105	児童生徒 2年:9名	担当者 神田日向子、小菅千鶴、政貴之
-----------	---------------	-----------------------

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。【中1段階】 (思判表力)順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。【中1段階】 (学・人)言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。【中1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	(知及技)簡単な文や文章を読むことができる。【中1段階7 (ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(カ)(キ)】 (思判表力)情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中1段階、C7・I】 (学・人)文や文章の内容を読み取る態度を養うことができる。【中1段階】	(知・技)情景・場面・心情・時間の経過を表す語句に着目して読むことができる。 (思・判・表)文や文章の概略をとらえ、情景・場面・心情を表す語句について説明することができる。 (主学)文や文章を読み取ろうとする意欲をもって学習に参加することができる。	○説明文。 ○物語、絵本。 ○詩。 ○様々な文や文章、資料などの読み取り(新聞、雑誌、メール、その他文字で書かれた素材) (4~7月)	○挿絵が少なく、文字量がやや多めな文や文章の朗読、黙読、聞き取り。 ○場面の様子の変化を表す語句の抽出、意味の確認。 ○人物の行動と心情を表す語句の抽出、読み取り。 ○時間を表す語句、接続語などの抽出、文や文章の構造や展開の確認。
		(知及技)長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を知ることができる。【中1段階7 (ウ)】 (思判表力)長音、拗音、促音、撥音、助詞を用いて語や文を構成することができる。【中1段階、B I】 (学・人)言葉を丁寧に読んだり書いたりする態度を養うことができる。【中1段階】	(知・技)長音、拗音、促音、撥音、助詞を正確に読み書きすることができる。 (思・判・表)日常的な言葉(出来事、事物、経験)を発したり書いたりする際に既習内容を応用することができる。 (主学)主体的かつ丁寧に文字を読み書きしようとする意欲を示すことができる。	○長音、拗音、促音、撥音が含まれた言葉の練習。 ○助詞「は」「へ」「を」などの音読、視写、聴写など。 ○平仮名・片仮名・自分や身近な事物の名前を書くこと。 (4~7月)	○長音、拗音、促音、撥音のある語句や文の音読、視写、聴写など。 ○日常的な言葉(出来事、事物、経験)の意味を確認し、生活場面や伝える相手に応じた文字や言葉の使い方などを反復練習すること。
		(知及技)文節の役割を知ることができる。【中1段階7 (イ)】 (思判表力)主語と述語、接続する語句を用いて文を構成することができる。【中1段階、Bウ】 (学・人)語のまとまりを意識し、読み書きに関心をもつことができる。【中1段階】	(知・技)主語と述語の関係、文節の概念などを理解して言葉を使うことができる。 (思・判・表)主語と述語、接続する語句を用い、様々な場面を想定して会話や作文をすることができる。 (主学)語のまとまりを意識することができる。	○主語と述語。 ○接続語。 ○文章・文・文節の繋がり。 (4~7月)	○主語と述語の係り受け。 ○接続語の働きおよび文章・文・文節の繋がりがり。 ○主語、述語、接続語などを用いた文や文章の作成・読解。
2 学期	48	(知及技)事柄を思い浮かべて列挙することができる。【中1段階イ (ア)】 (思判表力)思い浮かべた事柄の中から伝えたい内容を決めることができる。【中1段階、A1】 (学・人)言いたいことを整理し、自分なりの表現で伝える態度を身に付けることができる。【中1段階】	(知・技)「いつ・誰が・何をした」等の場面を整理することができる。 (思・判・表)自分の興味や関心、感情等を挙げて発表の手掛かりとすることができる。 (主学)自分の言葉で伝えようという意欲をもって学習に参加することができる。	○発表のトピックの確認、キーワードの選定。 ○自分の言いたいことを整理して伝えること(手紙、葉書、作文、発表など)。 ○相手の発言内容を汲み取ること。 (9~12月)	○「いつ・誰が・何をした」等を思い浮かべて発表の内容を決めること。 ○聞き手や話す目的を意識し、自分の興味関心、感情等を手掛かりにして話題を決めること。 ○発表者の話をよく聞き、ワークシートにキーワードを書き留めて短文を整理すること。
		(知及技)話をする時の発声方法を理解することができる。【中1段階7 (イ)】 (思判表力)場面に応じて発音や声の大きさに気を付けて話すことができる。【中1段階、A1】 (学・人)人前で言葉を発する姿勢を示すことができる。【中1段階】	(知・技)話をする際に必要な声量と発音の仕方を身に付けることができる。 (思・判・表)聞き手がいることを意識し、適切な発声で話すことができる。 (主学)意欲をもって学習に参加し、発声練習に取り組むことができる。	○文章や詩の音読。 ○出来事や発表。 ○メモや絵や写真などを手掛かりにして話をする事。 (9~12月)	○場面に応じた声量での会話。 ○姿勢や口形を意識した発音。 ○絵や写真で示された事物を言葉で表すこと。
3 学期	21	(知及技)丁寧な言葉があることに気づくことができる。【中1段階7 (カ)】 (思判表力)場面に応じて普通の言葉と丁寧な言葉を使い分けすることができる。【中1段階、A7・I・I、B7】 (学・人)場と相手をわきまえて言葉を使う姿勢を養うことができる。【中1段階】	(知・技)丁寧語と普通の言い方の区別を確認することができる。 (思・判・表)立場や状況に応じて丁寧な表現で伝えることができる。 (主学)相手を敬う気持ちをもって言葉を使おうと心掛けることができる。	○常体と敬体。 ○丁寧語。 ○尊敬語。 ○謙讓語。 (1~3月)	○相手や場面に応じた丁寧語(「~です」「~ます」「~ください」「~でした」「~ました」「~ですか」「~ますか」)の使い分け、反復練習。 ○常体から敬体への言い換え、敬体から常体への言い換え。 ○簡単な尊敬表現と謙讓表現に触れること。
		(知及技)様々な表現方法を理解することができる。【中1段階7 (ア)(イ)(ウ)(エ)】 (思判表力)語句のまとまりを意識し、様々な表現で話したり書いたりすることができる。【中1段階、B7・I・ウ・I・オ、C7・I・ウ・I】 (学・人)様々な言葉を学ぼうとする意欲をもつことができる。【中1段階】	(知・技)様々な語句の意味を確認し、生活場面を想定して使用することができる。 (思・判・表)学習した語句を用いて作文や発表をすることができる。 (主学)言語を習得するために意欲的に学習に取り組み、反復練習をすることができる(視写、聴写など)。	○視写・聴写(平仮名・片仮名・漢字・ローマ字・句読点など)。 ○生活用語、外来語、擬音語、擬態語、数量、気持ちを表す語など。 ○同義語・対義語、上位語・下位語、同音異義語、多義語など。 (1~3月)	○様々な文字や符号を丁寧に書くこと。 ○自分や身近な事物の名前を書くこと。絵や写真で示された事物を言葉として書くこと。 ○使用する語句に関連する単語を確認し、概念を理解すること。

総時 数	105	【評価資料】活動の様子を観察で評価する。
---------	-----	----------------------

令和 6 年度 中学部 2 年 ( II 課程 ) 社会 年間指導計画

単位数配当時数		生徒		担当者	
2/70		中学部2年II課程		富山直樹	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動、地域の産業と消費生活の様子及び身近な地域の様子の移り変わり並びに社会生活に必要なきまり、公共施設 の役割及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、自分との関わりが分かるとともに、調べまとめる技能を身に付けるようにする。(中学部1段階) (思判表力) 社会的現象について、自分の生活や地域社会と関連つけて具体的に考えたことを表現する基礎的な力を養う。(中学部1段階) (学・人) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。(中学部1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技)地域の安全を守るため、関係機関が地域の安全を確保していることがわかること。(中1段階ウ(ア)) (思判表力)地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時の備えや対応などにお着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを考え、表現すること。(中1段階ウ(アイ)) (学・人)授業に積極的に参加しようとする意欲がある。(中1段階)	(知・技)ロゴマークやピクトグラム、地図記号のあらわす事項を結びつけて知ろうとしている。 (思・判・表)ロゴマークやピクトグラム、地図記号の使い方について調べまとめ、表現しようとしている。 (主学)学習した内容について、自身の生活環境に結びつけて身近に発見しようとしている。 評価資料【ワークシート、質問や発表の様子】	・ロゴマークとピクトグラム ・地図記号 ・校外学習 (4～5月)	・ロゴマークとその名称をカードと照合しながら一致させる。 ・ピクトグラムとその名称をカードと照合しながら一致させ、実際校舎内のピクトグラムを探して確認する。 ・地図記号があらわす内容についてまとめる。 ・校外学習の目的地(本部町)について、学校からの道程、距離、地域の特色等について調べワークシートにまとめる。 ・インターネットや視覚教材で地域の状況や特色を調べる。
		(知及技)身近な地域や自分たちの市町村の様子、人々の生活は、時間とともに移り変わってきたことを知ること。(中1段階オ(ア)) (思判表力)交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市町村や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。(中1段階オ(イ)) (学・人)授業に積極的に参加しようとする意欲がある。(中1段階)	(知・技)端午の節句や沖縄県の本土復帰、沖縄戦について、その由来や歴史の流れを理解しようとしている。 (思・判・表)現在と過去の生活様式や道具、文化などについて調べ、その変遷と現在とのつながりについて考え、表現しようとしている。 (主学)日本への他国文化の流入や沖縄県の歴史的背景について理解し、その歴史的意義や成果を自ら見つけようとしている。 評価資料【ワークシート、質問、発表の様子】	・端午の節句 ・沖縄県の本土復帰 ・沖縄戦 (6月～7月)	・端午の節句の由来について、歴史的背景を、パワーポイントを活用して調べる。 ・沖縄県の本土復帰について、その歴史的事象と経緯を、パワーポイントやインターネットを活用して調べまとめる。 ・沖縄戦について、インターネットや視覚教材を活用して、歴史的背景や当時の状況について調べる。
2 学期	28	(知及技)身近な地域や自分たちの市町村の様子が分かること。(中1段階オ(ア)) (思判表力)都道府県内における市町村の市や市町村の地形、土地利用などに着目して身近な地域や市町村の様子を捉え、場所による違いを考え、表現すること。(中1段階ボ(イ)) (学・人)授業に積極的に参加しようとする意欲がある。(中1段階)	(知・技)沖縄県の市町村毎の特色を理解しようとしている。 (思・判・表)沖縄県の市町村について調べた事柄についてワークシートにまとめて各市町村毎の差異点や共通点を自ら見つけようとしている。 (主学)自分の住んでいる地域や近隣の市区町村について学んだことを、地域社会で自ら見つけようとしている。	沖縄県の市町村(北部圏域) (9～12月)	・自身の居住地を中心とした北部圏域の市町村について、市町村ごとに、市町村章、市町村花木、特産品等の特色等について調べまとめる。
		(知及技)身近な地域や自分たちの市町村の様子、人々の生活は時間とともに、移り変わってきたことを知ること。(中1段階オ(ア)) (思判表力)交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市町村や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。(中1段階ボ(イ)) (学・人)授業に積極的に参加しようとする意欲がある。(中1段階)	(知・技)日本の国土、地形、気候や都道府県毎の特色を理解しようとしている。 (思・判・表)日本の都道府県について調べた事柄についてワークシートにまとめて各都道府県毎の差異点や共通点を自ら見つけようとしている。 (主学)沖縄県と日本国全体について学んだことを、比較しながら、その類似点や相違点を見つけようとしている。	沖縄県の特色 ・位置、気候、産業、歴史、文化等 (9～12月)	・沖縄県と本土との違いを知り、沖縄県の独自性や特色について調べまとめる。
		(知及技)身近な地域や自分たちの市区町村の様子、人々の生活は、時間と共に移り変わってきたことを知ること。(中1段階オ(ア)) (思判表力)交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市区町村の人々の生活の様子。(中1段階カ(ア)) (学・人)授業に積極的に参加しようとする意欲がある。(中1段階)	(知・技)日本の時代区分の方法を知り、時代毎の特色のついて理解しようとしている。 (思・判・表)各時代毎の文化や風習、流行などの違いについて、調べたことをまとめ、表現しようとしている。 (主学)各時代毎の特色と、現在の自分たちの生活を結びつけて捉えようとしている。	日本と外国の様子 (9～12月)	・地図を活用しながら、日本や外国の様子を知り、その違いや共通点について調べまとめる。 ・インターネットや視覚教材で世界の主立った国々の特徴を調べまとめる。
3 学期	18	(知及技)家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることの大切さがわかる。(中学部1段階ア(イ)) (思判表力)社会生活のきまりとの関連を考え、表現すること。(中学部1段階ア(イ)) (学・人)社会生活について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。(中1段階フ)	(知・技)SDGs誕生の経緯、その意義について理解しようとしている。 (思・判・表)SDGsの実践例の中から実践可能な取り組みを見つけてようとしている。 (主学)SDGsについて学んだことを、生活の中で見つけようとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	SDGs (1～3月)	・SDGsが誕生した経緯と意義について調べる。 ・SDGsの実践例について、インターネットや視覚教材を使って調べまとめる。 ・自身が実践可能なSDGsは何か考え、具体的にどう取り組むか考える。
		(知及技)家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることの大切さがわかる。(中学部1段階ア(イ)) (思判表力)社会生活のきまりとの関連を考え、表現すること。(中学部1段階ア(イ)) (学・人)社会生活について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。(中1段階フ)	(知・技)教師の助言を聞いて、指示されたミッションを理解し、様々な場所で課題を解決しようとしている。 (思・判・表)教師以外に働く人たちが学校に従事していることについて理解し、調べまとめ表現しようとしている。 (主学)チームで活動することで、協力的に課題解決に取り組もうとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	ミッションゲーム (学校で働く人たちについて調べよう) (1～3月)	・提示された指令(ミッション)を理解して、チームごとの課題解決活動に協力して取り組む。 ・ミッションの成果や課題について、チームでまとめ、発表する。
総時数	70				

令和6年度 中学部 2年(Ⅱ課程) 数学科 年間指導計画

配当時数	対象生徒	担当者
105	中学部2年Ⅱ課程	新里 南海

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身につけるようにする。(中1段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基本的・基礎的な数量や図形の性質等を見だし統合的・発展的に考察する力、 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(中1段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用とする態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技)10000までの整数読み方・書き方を理解し、整数を操作することができる。(中2段階Aア(ア)) (思判表力)表記された整数やその読み方から、指定された位の数を判断し、その数を表現することができる。(中2段階Aア(イ)) (学・人)整数の表し方の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中2段階Aウ)	(知・技)指定された10000までの整数を読むこと・書くことができた。 (思・判・表)整数の指定された位の数を解答したり、指定された数が用い垂れている位を判断することができた。 (主学)整数の表し方の課題に取り組み、提出・発表することができた。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト	整数の表し方(4～5月)	・10000までの整数の読み方 ・10000までの整数の書き方 ・10000までの整数の位
		(知及技)整数の加法・減法について学び、それを用いて課題を解くことができる。(中2段階Aイ(ア)) (思判表力)数量の関係性を判断し、適切な計算方法を選択することができる。(中2段階Aイ(イ)) (学・人)加法・減法の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中2段階Aウ)	(知・技)3位数同士の整数の加法・減法を解くことができた。 (思・判・表)文章題から加法・減法の式を縦、解答することができた。 (主学)整数の加法・減法の課題に取り組み、提出・発表することができた。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト	整数の加法・減法(6～7月)	・2位数の加法・減法(復習) ・3位数同士の足し算(繰り上がり2回) ・3位数同士の引き算(繰り下がり2回) ・3位数を用いた文章問題(加法・減法)
2学期	48	(知及技)整数の乗法の解き方を理解し、それらを用いて課題を解くことができる。(中2段階Aウ(ア)) (思判表力)数量の関係性を判断し、適切な計算方法を選択することができる。(中2段階Aウ(イ)) (学・人)乗法の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中2段階Aウ)	(知・技)1位数同士のかけ算の課題を解くことができた。 (思・判・表)文章題から乗法の式を立て、解答することができた。 (主学)整数の乗法の課題に取り組み、提出・発表することができた。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト	整数の乗法(9～10月)	・かけ算九九の復習 ・かけ算九九の問題(1の段から9の段までをランダム) ・かけ算九九の文章問題
		(知及技)小数の読み方や書き方を理解し、それらを用いて課題を解くことができる。(中2段階Aオ(ア)) (思判表力)2つの小数を比較し、その大小を判断することができる。(中2段階Aオ(イ)) (学・人)小数の表し方の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中2段階Aウ)	(知・技)小数の読み方や書き方を理解し、課題を解くことができた。 (思・判・表)2つの小数を比較し、その代表を判断することができた。 (主学)小数の表し方の課題に取り組み、提出・発表することができた。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト	小数の表し方(11～12月)	・小数の表し方(小数点、小数第〇位) ・小数の読み方・書き方 ・2つの小数の大小の比較
3学期	21	(知及技)分数の考え方を理解し、それらを用いた課題を解くことができる。(中2段階Aカ(ア)) (思判表力)2つの分数を比較し、その大小を判断することができる。(中2段階Aカ(イ)) (学・人)分数の表し方で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中2段階Aウ)	(知・技)図や数直線で表現された分数を書くことができた。 (思・判・表)2つの分数を比較し、それらの大小を判断することができた。 (主学)分数の表し方の課題に取り組み、提出・発表することができた。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト	分数の表し方(1～2月)	・分数の読み取り(図や数直線) ・分数の読み方・書き方(分母、分子) ・分数同士の比較(通分)
		(知及技)特別な図形(正方形、長方形、直角三角形)の特徴を学び、それらを用いて課題を解くことができる。(中1段階Bア(ア)) (思判表力)基本的な形の特徴を捉え、道具を用いて、その形を適切に表現することができる。(中1段階Bア(イ)) (学・人)図形の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中1段階ウ)	(知・技)特別な図形の特徴を捉え、同様の図形を方眼紙に書くことができた。 (思・判・表)複数の図形を特徴毎にグループ分けすることができた。 (主学)図形の課題に取り組み、提出・発表することができた。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト	図形について(3月)	・特別な図形(正方形、長方形、直角三角形) ・図形の模写 ・図形の作図(方眼紙を使用) ・日常の中にある形
総時数	105				

令和6年度 中学部 2年(II課程) 理科 年間指導計画

単位数/配当時間	生徒	担当者
2/70	9名	大城凱

目標：(知・技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)身の回りの生物、自然、気象や身の回りでは起こる科学現象について気づき、観察、実験に取り組むことができるようにする。(中学部1段階) (思判表力)身の回りの生物、自然、気象や身の回りでは起こる科学現象の共通点や差異点に気づき、疑問を持つことができるようにする。(中学部1段階) (学・人)身の回りの生物、自然、気象や身の回りでは起こる科学現象について理解し、日常生活に活かすことができるようにする。(中学部1段階)		
------	---	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技)身の回りの生物の様子について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階Aア(ア)) (思判表力)身の回りの生物の様子から、主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつことができる。(中1段階Aア(イ)) (学・人)身の回りの生物の様子について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かすことができる。(中1段階)	(知・技)教師の助言を聞いて、身の回りの動植物に興味を持ち、様々な場所で見つけようとし、これらの様子や周辺環境、成長の過程などを理解しようとしている。 (思・判・表)身の回りの生物の姿や昆虫、植物の育ち方などについての違いや共通点を見つけようとしている。 (主学)身の回りの生物やその仲間について調べようとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	身の回りの生物(春～夏) (4月～5月)	・知っている植物や動物、興味、関心のある植物や動物の名前や特徴を発表する。 ・校内で春から夏にかけて見られる動物や植物を探索し、名前や特徴をプリントにまとめる。 ・モンシロチョウの成長過程や昆虫の体のつくりを監視し、プリントにまとめる。 ・農場で夏野菜の観察をし、名前や特徴をプリントにまとめる。 ・植物を育て、その成長過程と植物の体のつくりを監視し、プリントにまとめる。 ・インターネットや視覚教材でいろいろな生き物の特徴を調べる。
		(知及技)光や音の性質について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階Cウ(ア)) (思判表力)光や音の性質から主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつことができる。(中1段階Cウ(イ)) (学・人)光や音の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。(中1段階)	(知・技)光や音の性質、磁石の性質、電気の性質や回路について理解しようとしている。 (思・判・表)光を当てたときの明るさや暖かさ、音を出した時の様子、磁石を身の回りの物に近づけたときの様子、乾電池と豆電球などのつながりや乾電池につないだ物の様子などについての差異点や共通点を見ようとしている。 (主学)光や音の性質、磁石の性質及び電気の回路について学んだことを、身の回りの中で見つけようとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	光や音の性質 (6月～7月)	・平面鏡などに日光を当てたときの、平面鏡の向きや光の様子について調べる。 ・光を当てたときの物の明るさや暖かさについて調べる。 ・身の回りにある物を使って音を出したときの物の震え方や音の大きさを変えたときの現象の違いについて調べる。
2学期	28	(知及技)磁石の性質について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階Cエ(ア)) (思判表力)磁石の性質から、主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつことができる。(中1段階Cエ(イ)) (学・人)磁石の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとすることができる。(中1段階)	(知・技)光や音の性質、磁石の性質、電気の性質や回路について理解しようとしている。 (思・判・表)光を当てたときの明るさや暖かさ、音を出した時の様子、磁石を身の回りの物に近づけたときの様子、乾電池と豆電球などのつながりや乾電池につないだ物の様子などについての差異点や共通点を見ようとしている。 (主学)光や音の性質、磁石の性質及び電気の回路について学んだことを、身の回りの中で見つけようとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	磁石の性質 (9月～10月)	・磁石を身の回りの物に近づけたときの物の様子や特徴について調べる。 ・二つの磁石を近づけ、磁石が相互に引き合ったり、退け合ったりする様子について調べる。
		(知及技)雨水の行方と地面の様子についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中2段階Bア(ア)) (思判表力)雨水の行方と地面の様子について既習の内容や生活経験を基に予想することができる。(中2段階Bア(イ)) (学・人)雨水の行方と地面の様子について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活や社会生活に生かすことができる。(中2段階)	(知・技)雨水の行方と地面の様子について理解し、観察、実験などに取り組んでいる。 (思・判・表)雨水の行方と地面の様子について、疑問をもったことについて既習の内容や生活経験を基に予想している。 (主学)雨水の行方と地面の様子について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	雨水の行方と地面の様子 (10月～11月)	・水の流れ方やしみこみ方について地面の傾きや粒の大きさなどを関連付けた実験、観察を行う。 ・雨天時の運動場や校庭で水の流れを観察し、その規則性を調べる。 ・インターネットや視覚教材で雨水の行方や川の流れと働きについて調べる。
		(知及技)身の回りの生物の様子について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階Aア(ア)) (思判表力)身の回りの生物の様子から、主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつことができる。(中1段階Aア(イ)) (学・人)身の回りの生物の様子について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かすことができる。(中1段階)	(知・技)教師の助言を聞いて、身の回りの動植物に興味を持ち、様々な場所で見つけようとし、これらの様子や周辺環境、成長の過程などを理解しようとしている。 (思・判・表)身の回りの生物の姿や昆虫、植物の育ち方などについての違いや共通点を見つけようとしている。 (主学)身の回りの生物やその仲間について調べようとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	身の回りの生物(秋) (11月～12月)	・校内で秋に見られる動物や植物を探索し、名前や特徴をプリントにまとめる。 ・野菜の栽培を観察し、その成長過程やつくりをプリントにまとめる。 ・インターネットや視覚教材でいろいろな生き物の特徴を調べる。
3学期	18	(知及技)天気や自然界の水の様子を調べる活動を通して、それらについての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中2段階Bイ(ア)) (思判表力)気象現象について疑問をもったことについて既習の内容や生活経験を基に予想することができる。(中2段階Bイ(イ)) (学・人)気象現象について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活や社会生活などに生かすことができる。(中2段階)	(知・技)天気や自然界の水の様子についての基本的なことを理解し、観察、実験に取り組んでいる。 (思・判・表)気象現象について疑問をもったことについて既習の内容や生活経験を基に予想している。 (主学)気象現象について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	天気の様子 (1月～2月)	・1日の気温変化、1年の気温変化を調べる。 ・水が蒸発し水蒸気となる実験を行う。 ・インターネットや視覚教材で天気の変化や水の状態変化を調べる。
		(知及技)身の回りの生物の様子について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階Aア(ア)) (思判表力)身の回りの生物の様子から、主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつことができる。(中1段階Aア(イ)) (学・人)身の回りの生物の様子について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かすことができる。(中1段階)	(知・技)教師の助言を聞いて、身の回りの動植物に興味を持ち、様々な場所で見つけようとし、これらの様子や周辺環境、成長の過程などを理解しようとしている。 (思・判・表)身の回りの生物の姿や昆虫、植物の育ち方などについての違いや共通点を見つけようとしている。 (主学)身の回りの生物やその仲間について調べようとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	身の回りの生物(冬～春) (2月～3月)	・校内で冬に見られる動物や植物を探索し、名前や特徴をプリントにまとめる。 ・野菜の栽培を通してその成長過程を観察し、プリントにまとめる。 ・サクラの花のつくりや昆虫との関係を観察する。 ・インターネットや視覚教材でいろいろな生き物の特徴を調べる。
総時数	70				

令和6年度 中学部 2年(Ⅱ課程Aグループ) 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時間	学習グループ	担当者
2/70	中学部2年Ⅱ課程	瀬長英太

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけるようにする。(中1段階) (思判表力)造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。(中1段階) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技)材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表す。(中1段階A表現ア(イ)) (思判表力)経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をする。(中1段階A表現ア(ア)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組む。(中2段階ウ)	(知・技)材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、材料や用具を選んで使い表している。 (思・判・表)経験したことや思ったことをを基に、発想や構想をしている。 (主学)美術の活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察、完成作品で評価する。	・思い出の絵、楽しかったこと、がんばったこと、楽しみなこと(宿泊学習、運動会、修学旅行等、夏休み、学校生活) ・好きな物、描きたい物を描く。(4～5月)	・身近にあった出来事やこれまでの経験で楽しかったこと、がんばったこと、これから楽しみにしていることなどを考える。 ・遠足、運動会、修学旅行などのイベントの後に感じた事や思い出を絵で表す。またはこれから迎える楽しみなこと(過去の経験に基づいたイメージで可)等を絵に表す。画材は生徒の好みや時間配分に合わせて選択。 ・文字が書ける生徒はワークシートにテーマをまとめる。 ・ipad等で画像を検索して、描く。
		(知及技)材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表す。(中2段階Aア(イ)) (思判表力)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をする。(中2段階Aア(ア)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組む。(中2段階ウ)	(知・技)表したいことに合わせて、材料や用具を工夫して使い表している。 (思・判・表)柔軟に発想し、立体的に表現している。 (主学)美術の活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察、完成作品で評価する。	陶芸「身近な物を形に・・・」  人・動物・のりもの・建物(6月)	自然界や身の回りにある形や色彩に目をむけ、感じ取ったイメージを形に表現しよう。  ・自然界や身の回りに関する写真や資料を鑑賞する。 ・鑑賞して受け取った印象などを言葉にする。 ・見たり感じたりしたことを意識しながら粘土で表す。
		(知及技)表し方や材料による印象の違いなどに気付き、自分の見方や感じ方を広げる。(中1段階Bア(イ)) (思判表力)自分たちの作品や身近な造形品の創作などの鑑賞を通して、よさや面白さに気付き、自分の見方や感じ方を広げる。(中1段階Bア(ア)) (学・人)感じ取ったことや想像したことなどを話したり、他の生徒と共感する。(中1段階ウ)	(知・技)材料による印象の違いや適した用具などについて考えている。 (思・判・表)自分たちの作品制作の過程において、完成をイメージして活動している。 (主学)自分や友達作品を鑑賞し、表現の違いを楽しんだり、共感したりしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	鑑賞  飾る活動(7月)	毎時間の作品、制作の振り返り 校内への作品展示 自分や他の人の作品のよさ、がんばったことを発表する。
2 学期	28	(知及技)材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表す。(中2段階Aア(イ)) (思判表力)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすること。(中2段階Aア(ア)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組む。(中2段階ウ)	(知・技)表したいことに合わせて、材料や用具を工夫して使い表している。 (思・判・表)経験したことを基に、表し方を考えて、発想や構想をしている。 (主学)美術の活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察、完成作品で評価する。	コラグラフ「自分の好きな物や想像したものを表す」(9～10月)	経験したことや思ったこと、想像などを基に材料を組み合わせながら完成をイメージして表す。  ・モダンテクニック ・コラグラフの特徴や製作工程について学ぶ。 ・主題を決める。 ・材料を選んで組み合わせる。 ・完成をイメージして貼り付ける。 ・色を選んで刷る。
		(知及技)形や色彩、材料や光などの特徴について知る。(中1段階共通ア(ア)) (思判表力)造形的な特徴などからイメージをもつ。(中1段階共通ア(イ)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組む。(中2段階ウ)	(知・技)形や色彩、材料の特徴を生かし表している。 (思・判・表)顔の構成を学び、表情などイメージをもって表現している。 (主学)美術の活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察、完成作品で評価する。	「つないで、くっつけてみよう」(10月～11月)	木や紙、割り箸などの材料を繋げて造形する。想像した物を形にする。

		(知及技)表し方や材料による印象の違いなどに気付き、自分の見方や感じ方を広げる。(中1段階Bア(1)) (思判表力)自分たちの作品や身近な造形品の創作などの鑑賞を通して、よさや面白さに気付き、自分の見方や感じ方を広げる。(中1段階Bア(7)) (学・人)感じ取ったことや想像したことなどを話したり、他の生徒と共感する。(中1段階ウ)	(知・技)材料による印象の違いや適した用具などについて考えている。 (思・判・表)自分たちの作品制作の過程において、完成をイメージして活動している。 (主学)自分や友達のを鑑賞し、表現の違いを楽しんだり、共感したりしている。 【評価資料】活動の様子を観察で評価する。	鑑賞 飾る活動 (12月)	毎時間の作品、制作の振り返り 校内への作品展示 自分や他の人の作品のよさ、がんばったことを発表する。
3 学期	18	(知及技)形や色彩、材料や光などの特徴について理解するとともに、材料や用具の扱い方を身につけ、表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すことができる。(中2A表イ、共ア) (思判表力)自分たちの作品や造形作品、美術作品などを鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、造形的な特徴からイメージを捉えることができる。(中2B鑑ア、共イ) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わうことができる。	(知・技)形や色彩、材料や光などの特徴について理解するとともに、材料や用具の扱い方を身につけ、表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すことができる。 (思・判・表)自分たちの作品や造形作品、美術作品などを鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、造形的な特徴からイメージを捉えることができる。 (主学)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わうことができる。 【評価資料】活動の様子を観察で評価する。	・身の回りの色さがし 【iPad・iPod、モニター、プリンター、画用紙、糊、はさみ】 (1月～2月)	グループに分かれ「赤さがし」「青さがし」などとテーマを決める。校内や校庭をめぐりテーマの色を探して写真に撮る。何の写真かすぐにはわからないようにアップで撮ったり、トリミングしてできるだけ拡大しテキストチャを映し出す。クイズ形式など提示の方法も自分たちで考えながら撮影を行う。モニターに映してみんなで鑑賞する。プリントアウトして色別に分類して貼る。
		(知及技)表し方や材料による特徴の違いなどを捉え、自分の見方や感じ方を深める。(中2段階Bア(1)) (思判表力)自分たちの作品や美術作品などを鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深める。(中2段階Bア(7)) (学・人)感じ取ったことや想像したことなどを話したり、他の生徒と共感する。(中1段階ウ)	(知・技)表し方や材料による印象の違いに気付き、感想などを話している。 (思・判・表)作品集制作の過程で、自身の作品を振り返り、よさや面白さに気付き、感想などを話している。 (主学)自分や友達のを鑑賞し、表現の違いを楽しんだり、共感したりしている。 【評価資料】活動の様子を観察で評価する。	作品集づくり (3月)	年間の作品や写真を製本し、自身の制作活動を振り返る。
総時数	70				

令和 6年度 中学部2年 ( II 課程 ) 音楽 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者
2/70	中学部2年II課程	宮川優美

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身につけるようにする。【中学部1段階】 (思判表力) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。【中学部1段階】 (学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしよとする態度を養う。【中学部1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて理解する。(中1段階A(イ)㉔) (思判表力) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことができるようにする。(中1段階A(ウ)) (学・人) 進んで音や音楽に関わろうとする態度を養う。(中1段階ウ)	(知・技) 歌詞の内容に合わせて表情を変化させながら歌唱することを身に付けている。 (思・判・表) 歌詞の内容や曲想を知り、イメージをもって歌うことを身に付けている。 (主学) 楽曲の美しさを感じて歌唱しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・歌唱 ・手話表現 ・身体表現 (4～7月)	・正しい姿勢で発声しよう ・歌詞をイメージして歌ってみよう ・歌詞を覚えて歌ってみよう ・手話を覚えて表現しよう
		(知及技) 知識や技能を得たり生かしたりしながら、音楽づくりを身に付けようとする。(中1段階) (思判表力) 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりに気づきながら、音楽を味わう。(中1段階) (学・人) 簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏する技能を養う。(中1段階A(ウ)㉔)	(知・技) 表したい音楽表現をするために、音楽づくりを身に付けようとしている。 (思・判・表) 音の長さ、簡単な楽譜を見てリズムや速度が分かる。 (主学) 音階カードを見ながら、簡単な楽曲を一人で演奏しようとして身に付け、協力して音楽活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・器楽 ・創作 (5～6月)	・打楽器をつかってリズムアンサンブルをしよう ・旋律の創作活動 ・器楽合奏
		(知及技) 表したい音楽表現に身体表現の技能を身に付けるようにする。(中1段階E(ア)) (思判表力) 音楽を味わって聴くことができるようにする。(中1段階B) (学・人) 様々な音楽に親しみ、音楽経験を通して生活を明るく潤いのあるものにしよとする態度を養う。(中1段階ウ)	(知・技) 曲想と音楽の構造等との関わりについて知っている。 (思・判・表) 楽器の音色や楽曲の特徴や由来に興味を持って、鑑賞している。 (主学) 集中して観たり聴いたりすることができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・鑑賞 郷土の音楽について学ぼう (5～6月)	・協奏曲やオーケストラについて学ぼう「ビバルディ春」 ・様々な楽器の名称や音色を知ろう ・楽器の音色の特徴に気付いて鑑賞しよう
2学期	28	(知及技) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら意図を理解しながら曲の雰囲気合いに合った表現を工夫しようとしている。(中1段階A(ア)) (思判表力) 曲の雰囲気と音楽の構造を意識して、音楽を味わう。(中1段階A(ア)) (学・人) 音色や響きに気をつけて、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能を養う。(中1段階A(ウ)㉔)	(知・技) 音の長さやシンコペーションのリズムの違いに気をつけながら演奏しようとしている。 (思・判・表) 音の長さを知り、簡単な楽譜を見てリズムや速度を気をつけようとしている。 (主学) 協力して音楽活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・器楽 (9～11月)	・楽器の選択 ・楽器の正しい奏法を学ぶ ・合奏を楽しもう ・速さの違いを感じて演奏しよう
		(知及技) 鑑賞についての知識を得たり、曲や演奏のよさを見いだして聴く。(中1段階B(ア)) (思判表力) 曲の雰囲気と音楽の構造を味わって聴くことができるようにする。(中1段階B) (学・人) 様々な音楽に親しみ、音楽経験を通して生活を明るく潤いのあるものにしよとする態度を養う。(中1段階ウ)	(知・技) 曲の構造等との関わりについて知っている。 (思・判・表) 楽器の音色や鳴らし方に興味を持って、鑑賞している。 (主学) 集中して観たり聴いたりすることができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・鑑賞「舞台芸術」好きな曲紹介 ・iPadを使って調べ学習 (12月)	・舞台芸術について学ぼう (ミュージカル・オペラ・バレエ等) ・自分のおすすめしたい曲を紹介しよう「好きな曲紹介」 ・友達の好きな曲を聴いてみよう ・iPadを使って学習する曲を調べよう
3学期	18	(知及技) 音を音楽へと構成することについて思いや意図をもって、音楽づくりを身に付けようとする。(中1段階A(ウ)) (思判表力) 曲の雰囲気と楽器の音色と全体の響きのよさを見いだしながら、音楽を味わう。(中1段階) (学・人) 友達の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて、協働して音楽活動をする楽しむ態度を養う。(中1段階A(ウ)㉔)	(知・技) 音楽用語やリズムの特徴の意味を知り、曲の流れを止めずに演奏しようとしている。 (思・判・表) 音の長さや分り、簡単な楽譜を見てリズムや速度を知っている。 (主学) 協力して音楽活動をしよとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・歌唱・身体表現 (1～3月)	・指揮に挑戦しよう ・卒業の歌 ・歌詞や情景や曲想に相応しい歌い方を工夫しよう
		(知及技) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲のよさなどを見いだして聴くことができる。(中1段階B) (思判表力) 曲想と音楽の構造等との関わりについて聴くことができる。(中1段階A) (学・人) 様々な音楽に親しみ、音楽経験を通して生活を明るく潤いのあるものにしよとする態度を養う。(中1段階ウ)	(知・技) 曲想と音楽の構造等との関わりについて知っている。 (思・判・表) 楽器の音色や鳴らし方、楽曲の特徴や由来に興味を持って、鑑賞している。 (主学) 集中して観たり聴いたりすることができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・器楽合奏 (2月)	・器楽合奏 ・卒業コンサート ・友達に合わせて演奏しよう
総時数	70				



令和6年度 中学部 2年保健体育科 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒		担当者		
105	中学部2年II課程		島袋涼子		
目標・(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価・(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
(知及技)各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身につけるようにする。(中1段階) (思判表力)各種の運動や健康な生活における自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。(中1段階) (学・人)各種の運動に進んで取り組み、さまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。(中1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	(知及技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力を高めようとしている。(中1段階A) (思判表力)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、さまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階ウ)	(知・技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力を高めようとしている。 (思判表力)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したことを他者に伝えようとしている。 (主・学)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、さまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子、感想発表や記録で評価する。	A体づくり運動 (4～5月)	○体力テスト 50m走、100m走、握力、ボール投げ、上体起こし、立ち幅跳び、長座体前屈、持久走等 ○体力作り ウォーキング、ランニング、サーキットトレーニング等
		(知及技)器械・器具を使った運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技を身につけること。(中1段階Bア) (思判表力)器械・器具を使った運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。(中1段階Bイ) (学・人)器械・器具を使った運動に進んで取り組み、さまりを守り、友達と協力したり、場や器械・器具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動すること。(中1段階Bウ)	(知及技)器械・器具を使った運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技を身につけようとしている。 (思判表力)器械・器具を使った運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主・学)器械・器具を使った運動に進んで取り組み、さまりを守り、友達と協力したり、場や器械・器具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。	E球技 (6～7月)	○基本的な動きや技能 ・ゴール型、ネット型、ベースボール型などのボール操作及びボールを持たないときの動き。 ○簡素化されたゲーム ・バスケットボール、サッカー、フットベースボール、ティーボールなどを基に簡素化されたゲーム。
		(知及技)初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身につけることができる。(中1段階A) (思判表力)初歩的な泳ぎについての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人)初歩的な泳ぎに進んで取り組み、さまりなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階ウ)	(知及技)ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な技能を身に付け、表現したり踊ったりしようとしている。 (思判表力)ダンスについての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主・学)ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子、感想発表で評価する。	Gダンス (4～3月)	○音楽やリズムと動き ・特体連体体育大会で踊るダンスを覚える。弾む動きにねじる、回るなどの動きを入れて変化を付けたり、素早い動きやストップなどでリズムの変化をつけたりして続けて踊る。 ※ダンスは年間を通して指導する。
		(知及技)体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身につけることができる。(中1段階A) (思判表力)自分やグループの健康・安全について課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者につたえようとしている。 (学・人)健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。(中1段階)	(知及技)体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身につけようとしている。 (思判表力)自分やグループの健康・安全について課題を見つけ、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者につたえようとしている。 (主・学)健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養おうとする。【評価資料】学習の様子、ワークシートで評価する。	H保健 (4～3月)	○気持ちが悪くなること、元気なこと、具合の悪いところがないこと、などの心と体の調子がよい状態にあることを理解し実践しているか発問、観察等。 ○友達の体調の変化やけがをした際に、教師に伝えたりし、施設や用具の安全な使い方を知り、けがのないように気を付けて行動したりすることができるようにすること。 ○不安や悩みなどがあるときには、家族や教師、友達などと話したり、相談したりすること、友達と遊ぶこと、運動をしたり音楽を聴いたりすること、呼吸法を行うなどによって気持ちを楽にしたり、気分を変えたりすることなど心の健康について。 ※保健は年間を通して指導する。

2 学期	48	(知及技)初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階A) (思判表力)初歩的な泳ぎについての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人)初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階ウ)	(知及技)初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けようとしている。 (思判表力)初歩的な泳ぎについての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主・学)初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子、感想発表や記録、学習カードで評価する。	D水泳運動 (9～10月)	○呼吸をしながらの泳ぎ ・補助具を使って浮き、呼吸をしながら手や足を動かして泳ぐこと。 ・補助具を使いながら頭の上方に腕を伸ばした姿勢で、パタ足泳ぎやかえる足泳ぎなど、手や足をバランス良く動かし、呼吸をしながら進むこと。 ○補助具を使ったクロールや平泳ぎのストローク ・補助具を使って、手を左右交互に前に出し、水をかくクロールのストロークや、手の平を下向きにそろえ両手を前方に伸ばし、水をかく平泳ぎのストロークをすること。
		(知及技)陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階A) (思判表力)陸上運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人)陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階ウ)	(知及技)陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けようとしている。 (思判表力)陸上運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主・学)陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】学習の様子や発表、記録で評価する。	C陸上運動 (9～10月)	○短距離走・リレー ・50m～100m程度の短距離走 ○長距離走 ・一定の時間や距離を決めて、個々のタイムなどの目標を目指しながら走り続けること。
		(知及技)器械・器具を使った運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技を身に付けること(中1段階B) (思判表力)器械・器具を使った運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。(中1段階Bイ) (学・人)器械・器具を使った運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や器械・器具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動すること。(中1段階Bウ)	(知及技)器械・器具を使った運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技を身に付けようとしている。 (思判表力)器械・器具を使った運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主・学)器械・器具を使った運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や器械・器具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。	E球技 (11～12月)	○基本的な動きや技能 ・ゴール型、ネット型、ベースボール型などのボール操作及びボールを持たないときの動き。 ○簡素化されたゲーム ・バスケットボール、サッカー、フットベースボール、ティーボールなどを基に簡素化されたゲーム。
3 学期	21	(知及技)陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階C) (思判表力)陸上運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階Cイ) (学・人)陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階Cウ)	(知及技)陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けようとしている。 (思判表力)陸上運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主・学)陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】学習の様子や発表、記録で評価する。	C陸上運動 (1～2月)	○長距離走、駅伝 ・一定の時間や距離を決めて、個々のタイムなどの目標を目指しながら走り続けること。
		(知及技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階A) (思判表力)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。(中1段階イ) (学・人)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階ウ)	(知及技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行おうとしている。 (思判表力)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主・学)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】学習の様子や感想発表、振り返りシートで評価する。	E球技 (1～2月)	○基本的な動きや技能 ・ゴール型、ネット型、ベースボール型などのボール操作及びボールを持たないときの動き。 ○簡素化されたゲーム ・バスケットボール、サッカー、フットベースボール、ティーボールなどを基に簡素化されたゲーム。
		(知及技)武道の楽しさを感じ、その行い方や伝統的な考えが分かり、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開すること。(中1段階A) (思判表力)武道についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者につたえること。(中1段階イ) (学・人)武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動すること。(中1段階ウ)	(知及技)武道の楽しさを感じ、その行い方や伝統的な考えが分かり、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開しようとしている。 (思判表力)武道についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者につたえること。(中1段階イ) (主・学)武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】学習の様子や感想発表、振り返りシートで評価する。	F武道 (2～3月)	○基本動作(空手道) ・空手の内容は、「基本」型「組手」の3つに分かれる。基本動作を反復して行う。 ・オリンピック代表選手など空手有段者の動画を視聴。
総時数	105				

令和6年度 中学部 2年（Ⅱ課程グループ） 外国語 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者
35	中学部2年Ⅱ課程	鳥袋 耕全

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。【中段階】 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。【中段階】 (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。【中段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)英語の音声聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。【中段階(1)(ア)】 (思判表力) 簡単な挨拶をし合う活動をする。【中段階(2)(ウ)】 (学・人) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)英語の音声聞き、真似て声を出したり、話したりしている。 (思・判・表) 簡単な挨拶をし合う活動をしている。 (主学) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【自己紹介】 【アルファベット】 ・挨拶をしよう ・自己紹介をしよう  ・名札を作ろう (4～5月)	・英語でのあいさつを知り、発音する。 ・自分の名前、文字、スペルを知る。 ・アルファベットで自分の名前を書いて名札を作る。 ・簡単なゲームを通して、単語と意味のマッチングし、音や使い方を定着させる。
		(知及技)英語の音声聞き、真似て声を出したり、話したりしようとする。【中段階(1)(ア)】 (思判表力) 例事を見ながら自分の名前を書き写そうとすることができる。【中段階(1)(イ)】 (学・人) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)英語の音声聞き、真似て声を出したり、話したりしている。 (思・判・表) 例事を見ながら自分の名前を書き写そうとしている。 (主学) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【like, don't like】 ・好きを表す単語を知ろう (6～7月)	・自己紹介の表現を知り、発音する。(My name is～or I am～, I like～, I don't like～) ・自己紹介の内容を聞きとることができる。
		(知及技)対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとする。【中段階(1)(イ)】 (思判表力) ゆっくり話される簡単な質問に、英語の語など又は身振りや動作などで応じる活動をする。【中段階(2)(ウ)】 (学・人) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとしている。 (思・判・表) ゆっくり話される簡単な質問に、英語の語など又は身振りや動作などで応じる活動をしている。 (主学) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【5W,1H】 ・たずねてみよう。 ・好きなものなどについてたずねよう。 (6～7月)	・様々な表現を知り、それらの表現を使って、たずねる。 ・簡単な単語や表現を使ってお互いのことを伝え合う。
2 学期	14	(知及技)対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとする。【中段階(1)(イ)】 (思判表力) 自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現することができる。【中段階(2)(ア)】 (学・人) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとしている。 (思・判・表) 自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現しようとしている。 (主学) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【Summer Vacation】 ・夏休みの思い出についてスピーチしよう  【1学期の振り返り】 ・1学期に学んだことを思い出そう  【Can, Can't】 ・できる、できないについて知ろう。 (9月)	・他者に配慮しながら、夏休みに行った場所や食べたもの、楽しかったこと、感想などについて簡単な単語や表現を使って伝える、もしくはスピーチする。  ・1学期に学習した内容の復習。  ・「Can」の意味を理解する。 ・「Can't」の意味を理解する。
		(知及技)日本と外国の言語や文化に慣れ親しむことができる。【中段階(1)(イ)】 (思判表力) 身近で具体的な事柄に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付ける活動をする。【中段階(2)(イ)】 (学・人) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)日本と外国の言語や文化に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 身近で具体的な事柄に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付ける活動をしている。 (主学) 外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【季節の行事】 ・ハロウィン ・感謝祭 ・クリスマス (10～12月)	・写真などを見て、他国の季節の行事について知る。 ・季節の行事に関する表現や単語の学習をする。

		(知及技)基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝わることを感じ取ることができる。【中段階(1)(ウ)】 (思判表力)身近な事物を表す文字を書く活動ができる。【中段階(2)工】 (学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝わることを感じ取ろうとしている。 (思・判・表)身近な事物を表す文字を書く活動しようとしている。 (主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【This is for you】 ・カードを贈ろう (11~12月)	・様々な表現を知り、それらの表現を使って、カードを書く。 ・他者に配慮しながら、簡単な単語や表現を使ってカードで季節のあいさつをする。
3 学 期	9	(知及技)対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとするところができる。【中段階(2)(イ)】 (思判表力)自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現することができる。【中段階(1)(ア)】 (学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとするところしている。 (思・判・表)自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現しようとしている。 (主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【WinterVacation】 ・冬休みの思い出についてスピーチしよう。  【2学期の振り返り】 ・2学期に学んだことを思い出そう  【将来の夢・職業】 【want to be~】 ・「~になりたい」と表現する (1~2月)	・他者に配慮しながら、冬休みに行った場所や食べたもの、楽しかったこと、感想などについて簡単な単語や表現を使って伝える、もしくはスピーチする。  ・2学期に学習した内容の復習。  ・将来の夢や職業に関する単語や表現を学習する。 ・将来の夢や職業に関する単語を調べる。 ・将来の夢や職業、その理由などを伝える、もしくはスピーチをする。
		(知及技)日本と外国の言語や文化に慣れ親しむことができる。【中段階(1)イ】 (思判表力)身近で具体的な事物に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付ける活動をするところができる。【中段階(2)(イ)】 (学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)日本と外国の言語や文化に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表)身近で具体的な事物に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付ける活動をしている。 (主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【季節の行事】 ・バレンタイン ・卒業 (2~3月)	・写真などを見て、他国の季節の行事について知る。 ・季節の行事に関する表現や単語の学習をする。
		(知及技)基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝わることを感じ取ることができる。【中段階(1)ウ】 (思判表力)身近な事物を表す文字を書く活動ができる。【中段階(2)工】 (学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝わることを感じ取ろうとしている。 (思・判・表)身近な事物を表す文字を書く活動しようとしている。 (主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【This is for you】 ・カードを贈ろう (3月)	・様々な表現を知り、それらの表現を使って、カードを書く。 ・他者に配慮しながら、簡単な単語や表現を使ってカードで季節のあいさつをする。  ・学校生活や行事に関する単語や表現の学習する。 ・他者に配慮しながら、学校生活で楽しかったこと、感想などについて簡単な単語や表現を使って伝える、もしくはスピーチする。
総時 数	35				

令和 6年度 中学部2年 ( II課程 ) 職業・家庭 (家庭班) 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者
6/210	中学部2年II課程	宮城 三幸

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 職業についての関心をもち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。【中1段階】 (思判表力) 将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気付き、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。【中1段階】 (学・人) 将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。【中1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	(知及技) 働くことの意味などを知ることができる。【中1段階ア(ア)】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について気付くことができる。【中1段階ア(イ)】 (学・人) 作業や実習等に達成感を得ることができる。【中1段階ア(ア)】	(知・技) 働くことについて関心をもち、作業や実習に取り組もうとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもち、自分と他者との関係や役割について気付くことができる。 (主学) 作業や実習等に進んで取り組もうという様子がみられる。 【評価資料】 授業プリント (振り返しシート) や活動の様子が評価する。	・オリエンテーション (4月)	・授業開き、教室や用具の使用心得
		(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方をすることができる。【中1段階A(ア)】 (思判表力) 職業に関する事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くことができる。【中1段階A(イ)】 (学・人) 他者と協力し、進んで作業に取り組むことができる。【中1段階ウ】	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方を知らうとしている。 (思・判・表) 職業に関する事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について考え、発表しようとしている。 (主学) 他者と協力し、進んで作業に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子が評価する。	・縫製実習 (4～3月)	・基礎縫い、スウェーデン刺しゅう、小物づくり
		(知及技) 健康な生活と食事の役割について知ることができる。【中1段階B(ア)家庭分野】 (思判表力) 適切な量の食事をとることの大切さに気付き、それを他者に伝えることができる。【中1段階B(イ)家庭分野】 (学・人) 健康な生活や食事の役割について知り、進んで自分の食生活を工夫することができる。【中1段階ウ】	(知・技) 健康な生活と食事の役割について知らうとしている。 (思・判・表) 適切な量の食事をとることの大切さに気付き、それを他者に伝えようとしている。 (主学) 健康な生活や食事の役割について知り、進んで自分の食生活を工夫しようとしている。 【評価資料】 活動の様子が評価する。	・食事の役割 (7月) ・調理実習 (5～3月)	・3色栄養素、健康な身体づくり ・アイスボックスクッキー、マフィン
2 学期	84	(知及技) 職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。【中1段階B(イ)】 (思判表力) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。【中1段階B(イ)】 (学・人) 進んで製作活動に取り組むことができる。	(知・技) 職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知らうとしている。 (思・判・表) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) 進んで製作活動に取り組もうとしている。 【評価資料】 授業プリント (振り返しシート) や活動の様子が評価する。	・パソコンにふれてみよう (9月)	・マウスを使おう、インターネットを見てみよう
		(知及技) 幼児と接することなどに関わる学習活動を通して、幼児の特徴や過ごし方について知ることができる。【中1段階A(ア)家庭分野】 (思判表力) 幼児への適切な関わり方について気付き、それを他者に伝えることができる。【中1段階B(ウ)家庭分野】 (学・人) 幼児との触れ合いに関心をもち、進んで関わろうという態度を養うことができる。【中1段階ウ】	(知・技) 幼児と接することなどに関わる学習活動を通して、幼児の特徴や過ごし方について知らうとしている。 (思・判・表) 幼児への適切な関わり方について気付き、それを他者に伝えようとしている。 (主学) 幼児との触れ合いに関心をもち、進んで関わろうとしている。 【評価資料】 授業プリント (振り返しシート) や活動の様子が評価する。	・幼児の生活と家族 (10～11月)	・絵本を読み聞かせてみよう
		(知及技) 職業や進路に関わることについて関心をもち、調べたりすることができる。【中1段階C(ア)】 (思判表力) 職業や職業生活、進路に関わることについて気付き、他者に伝えることができる。【中1段階C(イ)】 (学・人) 他者と協力し、進んで作業に取り組むことができる。【中1段階ウ】	(知・技) 職業や進路に関わることについて関心をもち、調べたり、調べようとしている。 (思・判・表) 職業や職業生活、進路に関わることについて気付き、発表しようとしている。 (主学) 他者と協力し、進んで作業に取り組もうとしている。 【評価資料】 授業プリント (振り返しシート) や活動の様子が評価する。	・校内実習 (10月)	・チラシ、ポスター製作 ・スライドショー製作
3 学期	54	(知及技) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知ることができる。【中1段階C(イ)家庭分野】 (思判表力) 生活に必要な物を選んだり、物を大切に使うことができる。【中1段階C(イ)家庭分野】 (学・人) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践することができる。	(知・技) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知らうとしている。 (思・判・表) 生活に必要な物を選んだり、物を大切に使うことができる。【中1段階C(イ)家庭分野】 (主学) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践しようとしている。 【評価資料】 授業プリント (振り返しシート) や活動の様子が評価する。	・買い物学習、販売学習 (11～12月)	・お金の学習、計算、支払い方法、接客マナー
		(知及技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践することができる。【中1段階C(イ)家庭分野】 (思判表力) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫することができる。【中1段階C(イ)家庭分野】 (学・人) ゴミの分別や物を大切に扱うことについて考え、工夫しようとする態度を養うことができる。【中1段階ウ】	(知・技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践しようとしている。 (思・判・表) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫しようとしている。 (主学) ゴミの分別や物を大切に扱うことについて考え、工夫しようとする様子がみられる。 【評価資料】 授業プリント (振り返しシート) や活動の様子が評価する。	・環境に配慮した生活 (1月)	・ゴミの分別、リサイクルについて、物を大切に扱うこと
		(知及技) 接客マナーについて学び、関心を持つことができる。【中1段階イ】 (思判表力) 接客マナーを意識して、丁寧な言葉で接客することができる。【中1段階イ】 (学・人) 販売学習に達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中1段階ウ】	(知・技) 接客マナーについて学び、関心を持つことができる。【中1段階イ】 (思・判・表) 接客マナーを意識して、丁寧な言葉で接客しようとしている。 (主学) 販売学習に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。	・買い物学習、販売学習 (2～3月)	・学校近くのコンビニエンスストアでの買いもの学習、自分達が製作・調理した物を販売する
総時数	210				

tokushi2715

令和6年度 中学部 2年（Ⅱ課程） 職業（農園班） 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者
6/210	中学部2年Ⅱ課程	新里夏菜

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)職業について関心を持ち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力)将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気付き、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。(中1段階) (学・人)将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	(知及技)職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ることができる。【中1段階AⅠ(7)】 (思判表力)職業や職業生活、進路に関わることに気付き、他者に伝えることができる。【中1段階CⅠ】 (学・人)オリエンテーションや係決めなどの話し合い活動に進んで参加することができる。	(知・技)職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ることができた。 (思・判・表)職業や職業生活、進路に関わることに気付き、他者に伝えることができた。 (主学)オリエンテーションや係決めなどの話し合い活動に進んで参加しようとしている。 【評価資料】活動の様子、発表で評価する。	オリエンテーション (4月)	・働く目的について ・一年間の作業内容について ・作業の心得 ・身なりの確認
		(知及技)作業課題が分かり、使用する道具の扱い方に慣れることができる。【中1段階AⅠ(7)】 (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。【中1段階AⅠ(1)】 (学・人)他者と協力して作業に取り組むことができる。	(知・技)作業課題が分かり、使用する道具の扱い方に慣れることができた。 (思・判・表)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができた。 (主学)他者と協力して作業に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	野菜や草花の栽培及び販売 (ナス、ピーマン、オクラ、コリウス、マリーゴールド等) (4～7月)	・ミーティング(出欠、作業内容の確認、作業の心得、身なりの確認) ・野菜の肥培管理 ・灌水、施肥、除草 ・野菜の収穫及び販売準備 ・収穫、計量、袋詰め、販売 ・草花の栽培 ・播種、鉢上げ、定植、施肥、観察 ・販売学習 ・接客マナー、金銭学習 ・緑化活動 ・草花のプランター植え、花壇への定植等による装飾、施肥、灌水
		(知及技)作業課題が分かり、使用する道具の扱い方に慣れることができる。【中1段階AⅠ(7)】 (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中1段階AⅠ(1)】 (学・人)協力して作業に取り組むことができる。	(知・技)作業課題が分かり、使用する道具の扱い方に慣れることができた。 (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができた。 (学・人)協力して作業に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	分担区清掃(4～7月)	・清掃の意義 ・清掃用具の扱い方 ・清掃方法について ・トイレ清掃 ・廊下清掃
		(知及技)職業や進路に関わることに興味をもったり、調べたりすることができる。【中1段階CⅠ】 (思判表力)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くことができる。【中1段階AⅠ(1)】 (学・人)売上金を活用して買い物学習に取り組むことができる。	(知・技)職業や進路に関わることに興味をもったり、調べたりすることができた。 (思・判・表)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くことができた。 (主学)売上金を活用して買い物学習に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	身近な職業について① (7月)	・身近な職業調べ ・将来身に付けたい力について ・働く目的 ・近くのコンビニを利用した買い物学習
		(知及技)職業生活に必要な知識や技能を知ることができる。【中1段階AⅠ(7)】 (思判表力)職業や職業生活、進路に関わることに気付き、他者に伝えることができる。【中1段階CⅠ】 (学・人)学期を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことを見つけることができる。	(知・技)職業生活に必要な知識や技能を知ることができた。 (思・判・表)職業や職業生活、進路に関わることに気付き、他者に伝えることができた。 (主学)学期を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことを見つけることができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	反省会 (7月)	・一学期の反省会 ・一学期の振り返り、発表
2 学期	84	(知及技)材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関する基礎的な技術について知ることができる。【中1段階AⅠ(7)】 (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中1段階AⅠ(1)】 (学・人)安全かつ効率よく作業ができるよう工夫することができる。	(知・技)材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関する基礎的な技術について知ることができた。 (思・判・表)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができた。 (主学)安全かつ効率よく作業ができるよう工夫することができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	野菜や草花の栽培(キャベツ、ブロッコリー、ニンジン、タマネギ、ジャガイモ、ガザニア、サルビア等) (9～12月) 校内実習 (10月)	・ミーティング(出欠、作業内容の確認、作業の心得、身なりの確認) ・農場整備 ・畝立て、マルチシート張り、植え穴開け、敷き草敷き ・野菜の播種、鉢上げ、灌水、定植、施肥 ・草花の播種、鉢上げ、灌水、定植、施肥 ・緑化活動 ・草花のプランター植え、花壇への定植等による装飾、施肥、灌水
		(知及技)作業課題が分かり、使用する道具の扱い方に慣れることができる。【中1段階AⅠ(7)】 (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中1段階AⅠ(1)】 (学・人)進んで作業に取り組むことができる。	(知・技)作業課題が分かり、使用する道具の扱い方に慣れることができた。 (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができた。 (学・人)進んで作業に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	分担区清掃(9～12月)	・清掃用具の扱い方 ・清掃方法について ・トイレ清掃 ・廊下清掃 ・窓清掃
		(知及技)コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。【中1段階BⅠ】 (思判表力)コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。【中1段階BⅠ】 (学・人)進んで製作活動に取り組むことができる。	(知・技)コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができた。 (思・判・表)コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができた。 (主学)進んで製作活動に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、作品、授業態度で評価する。	コンピュータ等を使った実習 (9～10月)	・コンピュータやタブレット端末の基本操作 ・アプリケーションを用いた製作活動(チラシ・ポスター作成、スライドショー作り) ・情報モラル

		(知及技)職業や進路に関わることに 関心をもったり、調べたりすることが できる。【中1段階Cア】 (思判表力)職業に関わる事柄と作業や実 習で取り組む内容との関連について気付く ことができる。【中1段階Ai(イ)】 (学・人)事業所見学を通して、自らの進路に 興味をもつことができる。	(知・技)職業や進路に関わることに 関心をもったり、調べたりすることが できた。 (思・判・表)職業に関わる事柄と作業や実 習で取り組む内容との関連について気付く ことができた。 (主学)事業所見学を通して、自らの進路に 興味をもつことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、 振り返りシートで評価する。	身近な職業について② (11月)	・身近な職業とこれまで学習したことの関わりにつ いて ・事業所見学
		(知及技)職業生活に必要な知識や技能を 知ることができる。【中1段階Ai(ア)】 (思判表力)職業や職業生活、進路に関わ ることに、気付き、他者に伝えることが できる。【中1段階Ci】 (学・人)学期を振り返り、協力して取り組 んだことや工夫したことを見つけることが できる。	(知・技)職業生活に必要な知識や技能を 知ることができた。 (思・判・表)職業や職業生活、進路に関わ ることに、気付き、他者に伝えることが できた。 (主学)学期を振り返り、協力して取り組 んだことや工夫したことを見つけることが できた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、 振り返りシートで評価する。	反省会 (12月)	・二期の反省会 二期の振り返り、発表
3 学 期	54	(知及技)作業の持続性や巧緻性を身に 付けることができる。【中1段階Ai(ア)】 (思判表力)職業生活に必要な健康管理に ついて気付くことができる。【中1段階Ai(イ)】 (学・人)安全かつ効率よく作業ができるよ う工夫することができる。	(知・技)作業の持続性や巧緻性を身に 付けることができた。 (思・判・表)職業生活に必要な健康管理に ついて気付くことができた。 (主学)安全かつ効率よく作業ができるよ う工夫することができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、 振り返りシートで評価する。	野菜や花の栽培及び販売 (キャベツ、ブロッコリー、ニ ンジ、タマネギ、ジャガイモ、ガ ザニア、サルビア等) (1～2月) 野菜の栽培(ピーマン、ナス、オ クラ等) (2～3月) 校内実習 (1月)	・ミーティング(出欠、作業内容の確認、作業の心 得、身なりの確認) ・野菜の肥培管理 定植、灌水、施肥、除草 ・野菜の収穫及び販売準備 収穫、計量、袋詰め、販売 ・花の栽培 播種、鉢上げ、定植、施肥、観察 ・販売学習 接客マナー、金銭学習 ・緑化活動 草花のプランター植え、花壇への定植等による装 飾、施肥、灌水
		(知及技)作業の持続性や巧緻性を身に 付けることができる。【中1段階Ai(ア)】 (思判表力)作業に当たり安全や衛生につ いて気付き、工夫することができる。【中1段階 Ai(イ)】 (学・人)進んで作業に取り組むことが できる。	(知・技)作業の持続性や巧緻性を身に 付けることができた。 (思判表力)作業に当たり安全や衛生につ いて気付き、工夫することができた。 (学・人)進んで作業に取り組むことが できた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、 振り返りシートで評価する。	分担区清掃(1～3月)	・清掃用具の扱い方 ・清掃方法について ・トイレ清掃 ・廊下清掃 ・教室清掃
		(知及技)職業や進路に関わることに 関心をもったり、調べたりすることが できる。【中1段階Cア】 (思判表力)職業に関わる事柄と作業や実 習で取り組む内容との関連について気付く ことができる。【中1段階Ai(イ)】 (学・人)売上金を活用して買い物学習に 取り組むことができる。	(知・技)職業や進路に関わることに 関心をもったり、調べることが できた。 (思・判・表)職業に関わる事柄と作業や実 習で取り組む内容との関連について気付く ことができた。 (主学)売上金を活用して買い物学習に 取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、 振り返りシートで評価する。	身近な職業について③ (3月)	・身近な職業とこれまで学習したことの関わりにつ いて ・買い物学習
		(知及技)職業生活に必要な知識や技能を 知ることができる。【中1段階Ai(ア)】 (思判表力)職業や職業生活、進路に関わ ることに、気付き、他者に伝えることが できる。【中1段階Ci】 (学・人)1年間を振り返り、協力して取り組 んだことや工夫したことを見つけることが できる。	(知・技)職業生活に必要な知識や技能を 知ることができた。 (思・判・表)職業や職業生活、進路に関わ ることに、気付き、他者に伝えることが できた。 (主学)1年間を振り返り、協力して取り組 んだことや工夫したことを見つけることが できた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、 振り返りシートで評価する。	反省会 (3月)	・三期の反省会 一年間の振り返り、発表
総時 数	210				



令和6年度 中学部2年(Ⅱ課程)職業科 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者			
6	中学部2年Ⅱ課程	仲宗根 正			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標	(知及技)職業について関心をもち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。【中1段階】 (思判表力)将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。【中1段階】 (学・人)将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。【中1段階】				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	(知及技)働くことの目的などを知ることができる。【中1段階A(ア)】 (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。【中1段階A(イ)】 (学・人)作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技)働くことの目的などを知ろうとしている。 (思・判・表)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付こうとしている。 (主学)作業や実習等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子等	今日の学習(4月～7月) ・ミーティング ・将来の生活 ・いろいろな職業	○入室時のあいさつ ○出席確認と健康観察 ○作業の心得・服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるような話題
		(知及技)作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。【中1段階A(イ)】 (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中1段階A(イ)】 (学・人)木工品の製作等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技)作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れようとしている。 (思・判・表)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫しようとしている。 (主学)木工品の製作等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	木工品製作 ・なべ敷き(4～5月) ・ミニイス(6～7月)	○製作準備、片付け ○けがき ○材料取り ○部品加工 ○組み立て ○仕上げ(塗装など) ○すず落とし
		(知及技)コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。【中1段階B(ア)】 (思判表力)コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。【中1段階B(イ)】 (学・人)情報機器の操作等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技)コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ろうとしている。 (思・判・表)コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えようとしている。 (主学)情報機器の操作等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、情報機器の操作等	情報機器の活用 ・出席管理(4～7月) ・情報検索(4～7月) ・学習記録(7月)	○iPadで出席入力(日直) ○製作に関する資料検索 ○製作品の撮影等
2 学期	84	(知及技)働くことの目的などを知ることができる。【中1段階A(ア)】 (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。【中1段階A(イ)】 (学・人)作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技)働くことの目的などを知ろうとしている。 (思・判・表)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付こうとしている。 (主学)作業や実習等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子等	今日の学習(9月～12月) ・ミーティング ・将来の生活	○入室時のあいさつ ○出席確認と健康観察 ○作業の心得・服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるような話題
		(知及技)作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。【中1段階A(イ)】 (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中1段階A(イ)】 (学・人)木工品の製作等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技)作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れようとしている。 (思・判・表)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫しようとしている。 (主学)木工品の製作等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	木工品の製作 ・鉢かけ(9～10月) ・ワゴンラック(10～12月) ・小物入れ(11～12月)	○製作準備、片付け ○けがき ○材料取り ○部品加工 ○組み立て ○仕上げ(塗装など) ○すず落とし
		(知及技)コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。【中1段階B(ア)】 (思判表力)コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。【中1段階B(イ)】 (学・人)情報機器の操作等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技)コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ろうとしている。 (思・判・表)コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えようとしている。 (主学)情報機器の操作等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、情報機器の操作、作成物等	情報機器の活用 ・出席管理(9～12月) ・情報検索(9～12月) ・学習記録(12月) ・販売に向けて(12月)	○iPadで出席入力(日直) ○製作に関する資料検索 ○製作品の撮影等 ○販売用ポスター等作成
(知及技)職業や進路に関わることに興味をもち、調べたりすることができる。【中1段階C(ア)】 (思判表力)職業や職業生活、進路に関わることに興味をもち、調べたりすることができる。【中1段階C(イ)】 (学・人)校内実習で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技)職業や進路に関わることに興味をもち、調べようとしている。 (思・判・表)職業や職業生活、進路に関わることに興味をもち、調べようとしている。 (主学)校内実習で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、タイムカード、実習日誌等	校内実習(10月) ・事前学習 ・木工品制作 ・事後学習	○校内実習について ○木工品製作 ○販売準備 ○事後学習		
3 学期	54	(知及技)働くことの目的などを知ることができる。【中1段階A(ア)】 (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。【中1段階A(イ)】 (学・人)作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技)働くことの目的などを知ろうとしている。 (思・判・表)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付こうとしている。 (主学)作業や実習等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子等	今日の学習(1月～3月) ・ミーティング ・将来の生活	○入室時のあいさつ ○出席確認と健康観察 ○作業の心得・服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるような話題
		(知及技)作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。【中1段階A(イ)】 (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中1段階A(イ)】 (学・人)木工品の製作等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技)作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れようとしている。 (思・判・表)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。 (主学)木工品の製作等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	木工品の製作 ・ワゴンラック(1～3月)	○製作準備、片付け ○けがき ○材料取り ○部品加工 ○組み立て ○仕上げ(塗装など)
		(知及技)職業や進路に関わることに興味をもち、調べたりすることができる。【中1段階C(ア)】 (思判表力)職業や職業生活、進路に関わることに興味をもち、調べたりすることができる。【中1段階C(イ)】 (学・人)校内実習で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技)職業や進路に関わることに興味をもち、調べようとしている。 (思・判・表)職業や職業生活、進路に関わることに興味をもち、調べようとしている。 (主学)校内実習で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子等	校内実習(1月) ・職業・家庭成果発表会 (生産物販売)	○販売準備 ○生産物販売 ○事後学習
総時数	210	※生徒の興味関心や学習の進捗状況に応じて、木工品の製作を校内美化やリサイクル活動に置き換えて実施する。 ※将来の職業生活や家庭生活を意識できるような活動を適時取り入れる。			

令和6年度 中学部 2年（Ⅱ課程） 道徳科 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒		担当者		
35	中学部2年Ⅱ課程		岸本 鈴香		
年間目標	・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己をみつめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	B 主として人との関わりに関する こと ・家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接すること。【感謝】	・自分のことを支えてくれている人について知ることができる。 ・感謝の伝え方について知り、実践しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・「ありがとう」の言葉【教科書】 ・「母の日」 (4～5月)	・自分のことを支えてくれている人について考える。 ・感謝の気持ちを伝える言葉や伝え方について知る。
		C 主として集団や社会との関わりに関する こと ・我が国や郷土の伝統と文化を大切し、国や郷土を愛する心をもつこと。【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	・沖縄戦や郷土の歴史に興味を持ち、学習へ取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・平和学習 ・沖縄戦 ・生き物を大切に 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 (6月)	・平和学習 ・慰霊の日に向けて沖縄戦の学習をし、郷土の歴史や、命の大切さについて再確認する。 ・復帰記念日に向け沖縄の歴史を学び、自らの生きる地域社会について興味をもつ。
		B 主として人との関わりに関する こと ・礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。【礼儀】	・敬語や丁寧語について知り、自ら考え使おうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・「丁寧な言葉づかい」 ・ビジネスマナー (7月)	・TPOによって言葉を使い分けられることの大切さを知る。 ・ビジネスマナーについて知る。
2 学期	14	B 主として人との関わりに関する こと ・友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。【友情、信頼】	・学級会へ参加し、自らの行動を振り返り発言している。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・自分の良い所、友達の良い所さがし ・異性との付き合い方 友情、親愛 (9～10月)	・学年活動 ・校外学習のルール、マナー ・男女の違い（性教育） ・学年活動を通じた行動を振り返る。学級単位のアクティブラーニングにより他者への理解を深める。
		B 主として人との関わりに関する こと ・自分の考えや意見を相手に伝えるときも、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。【相互理解、寛容】	・いろいろなきもちについて考え、ワークシートに記入している。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・「どんなきもち？」【絵本】 (11月)	・いろいろな気持ちがあることについて知る。 ・気持ちの伝え方（ロールプレイング）
		C 主として集団や社会との関わりに関する こと ・約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。【規則の尊重】	・深夜徘徊や情報モラルについて学び、自らの生活習慣などの環境を調整しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・2学期のふりかえり ・冬休みに向けて計画を立てよう 節度、節制 (12月)	・長期休暇に向け、自己管理責任について学び、望ましい生活習慣を考える。
3 学期	9	C 主として集団や社会との関わりに関する こと ・働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと。【勤労、公共の精神】	・職業生活のイメージを持ち、成果発表会に向けて取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・働くことの意義 ・将来の生き方 勤労 (1月)	・職業家庭成果発表会に向けて ・自己の未来 ・職業生活についてイメージできるように、校内実習を通して生活リズムや環境を学ぶ。
		C 主として集団や社会との関わりに関する こと ・誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること。【公正、公平、社会主義】	・公正・公平な態度について話を聞き、誰に対しても分け隔てなく接しようとする様子が見られる。 ・1年間の成功や失敗を振り返って学び、自身の得意なこと、苦手なことを理解している。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・「となりのせき」【教科書】 ・1年間の振り返り ・キャリアパスポート (3月)	・公正・公平な態度について知り、考える。 ・1年間の振り返り ・自己の1年間の振り返り、進級に向けた目標を持てるようにする。
総時数	35				

令和6年度 中学部 2年（Ⅱ課程） 総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者
35	中学部2年Ⅱ課程	島袋涼子

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		・探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に係る概念を形成し、探究的な学習の良さを理解できるようにする。(学・人) ・実社会や実生活の中から疑問を見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができるようにする。(思判表力)(学・人) ・探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う(学・人)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)学級や学年の仲間に関心を持って話を聞くことができる。 (思判表力)自分の好きなことや得意なことをまとめ、相手に伝えることができる。 (学・人)自分と異なる意見に耳を傾け、様々な立場の人から学ぶことができる。	(知・技)学級や学年の仲間の話や発表を静かに聞き、相手のことを知ろうとすることができた。 (思・判・表)まとめたものを相手に伝えたり、表現しようとすることができた。 (主学)自分と異なる意見に耳を傾け、様々な立場の人から学ぼうとすることができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「学級開き」(4月)	・先生の紹介 ・自己紹介
		(知及技)係や当番のやり方や活動の流れを理解することができる。 (思判表力)活動内容を理解し、自分の作業に責任を持って取り組むことができる。 (学・人)自分や仲間と相談し、協力して活動できる。	(知・技)係や当番のやり方や活動の流れを理解することができた。 (思・判・表)活動内容を理解し、自分の作業に責任を持って取り組むことができた。 (主学)自分や仲間と相談し、協力して活動する姿勢を身につけることができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「教室環境を整えよう」(4月)	・係決め ・掲示物作成
		(知及技)これまでの生活を振り返り自分の長所や短所について知る。 (思判表力)自分の長所や課題を理解し、まとめることができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞くことができる。	(知・技)これまでの生活を振り返り自分の長所や短所について学ぶことができた。 (思・判・表)自分の長所や課題を理解し、まとめようとする姿勢を身につけることができた。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞こうとすることができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「1学期の目標をたてて、皆の前で発表しよう」(5月)	・1学期の目標決め、作成、発表、掲示
		(知及技)校外における規律やマナーについて理解することができる。 (思判表力)集団行動の在り方について考えたり、共に協力し合ったりすることができる。 (学・人)自然に関心を持ち、見通しを持ったり、振り返ったりしながら、積極的に取り組むことができる。	(知・技)校外における規律やマナーについて理解することができた。 (思・判・表)集団行動の在り方について考えたり、共に協力することができた。 (主学)自然に関心を持ち、見通しを持ったり、振り返ったりしながら、積極的に取り組むことができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「集団行動をしよう」(5、6月)	・校外学習
		(知及技)これまでの生活を振り返り、自分の長所や短所、好きなことなどを確認することができる。 (思判表力)自分の長所や短所を理解し、まとめることができる。 (学・人)教師や仲間の話、写真等を確認して、課題に取り組むことができる。	(知・技)これまでの生活を振り返り、自分の長所や短所、好きなことなどを確認することができた。 (思・判・表)自分の長所や短所を理解し、まとめることができた。 (主学)教師や仲間の話、写真等を確認して、課題に取り組もうとすることができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「キャリアパスポート作成、自分の進路について考えよう」(7月)	・写真やスライドなどで、これまでの活動を振り返る。 ・キャリアパスポート作成
		(知及技)これまでの活動内容を振り返り、頑張ったことや自分の課題について考えることができる。 (思判表力)学習したことを振り返り次の課題にとり組むことができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持ち、聞くことができる。	(知・技)これまでの活動内容を振り返り、頑張ったことや自分の課題について考えようとすることができた。 (思・判・表)学習したことを振り返り、次の課題にとり組もうとすることができた。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞こうとすることができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「1学期を振り返ろう」 「夏休みの過ごし方について」(7月)	・スライドで1学期を振り返る。 ・1学期の自分の目標を振り返る。 ・夏休みの過ごし方
2 学期	14	(知及技)これまでの活動を振り返り、自分の長所や短所を理解し、まとめることができる。 (思判表力)経験したことを自分に生かし、次の課題にとり組むことができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持ち、聞くことができる。	(知・技)これまでの活動を振り返り、自分の長所や短所を理解し、まとめるようとすることができた。 (思・判・表)経験したことを自分に生かし、次の課題にとり組もうとすることができた。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞こうとすることができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「2学期の目標をたてて、皆の前で発表しよう」(9月)	・2学期の目標決め、作成、発表、掲示
		(知及技)校外における規律やマナーについて理解することができる。 (思判表力)集団行動の在り方について考えたり、共に協力し合ったりすることができる。 (学・人)自然に関心を持ち、見通しを持ったり、振り返ったりしながら、積極的に取り組むことができる。	(知・技)校外における規律やマナーについて理解することができた。 (思・判・表)集団行動の在り方について考えたり、共に協力することができた。 (主学)自然に関心を持ち、見通しを持ったり、振り返ったりしながら、積極的に取り組むことができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「集団行動をしよう」(12月)	・校外学習
		(知及技)これまでの活動内容を振り返り、頑張ったことや自分の課題について考えることができる。 (思判表力)学習したことを振り返り次の課題にとり組むことができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持ち、聞くことができる。	(知・技)これまでの活動内容を振り返り、頑張ったことや自分の課題について考えようとすることができた。 (思・判・表)学習したことを振り返り次の課題にとり組もうとすることができた。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞こうとすることができた。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「2学期を振り返ろう」 「冬休みの過ごし方について」(12月)	・スライドで2学期を振り返る。 ・2学期の自分の目標を振り返る。 ・冬休みの過ごし方

3 学 期	9	<p>(知及技)これまでの活動内容を振り返り、自分の好きなこと、得意不得手について整理し、まとめることができる。 (思判表力)自分の好きなことや得意なことをまとめ、評価することができる。 (学・人)自分と異なる意見に耳を傾け、様々な立場の人から学ぶことができる。</p>	<p>(知・技)これまでの活動内容を振り返り、自分の好きなこと、得意不得手について整理し、まとめようとする。 (思・判・表)自分の好きなことや得意なことをまとめ、評価しようとする。 (主学)自分と異なる意見に耳を傾け、様々な立場の人から学ぼうとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど</p>	<p>「キャリアパスポート、振り返り、評価しよう」(1月)</p>	<p>・3学期の目標決め、作成、発表、掲示</p>
		<p>(知及技) 交通機関や公共施設の利用の仕方を知る。 (思判表力) ルールやマナーについて考え、自分の約束事を確認できる。 (学・人) 仲間と協力して、マナーを守り、楽しく安全に活動できる。</p>	<p>(知・技) 交通機関や公共施設の利用の仕方を知ろうとする。 (思・判・表) ルールやマナーについて考え、自分の約束事を確認しようとする。 (主学) 仲間と協力して、マナーを守り、楽しく安全に活動しようとする姿勢が見られる。 【評価資料】キャリアパスポート。活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>「校外学習」(2月)</p>	<p>・行き先、交通機関や公共施設の使用マナーについて ・約束やルールを守って行動する。</p>
		<p>(知及技) 1年間の活動を写真やスライドを手がかりにこれまでの活動内容を振り返り、見通しを持ち次の目標を立てることができる。 (思判表力)学習したことを振り返り次の課題にとり組むことができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞くことができる。</p>	<p>(知・技) 1年間の活動を写真やスライドを手がかりにこれまでの活動内容を振り返り、見通しを持ち次の目標を立てようとする。 (思・判・表)学習したことを振り返り次の課題にとり組もうとする。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞こうとする。 【評価資料】キャリアパスポート。活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>「1年間を振り返ろう」 「春休みの過ごし方について」(3月)</p>	<p>・スライドで1年間を振り返り、次年度に向けての目標を立てる。</p>
総 時 数	35				

令和6年度 中学部 2年（Ⅱ課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者
35	中学部2年Ⅱ課程	岸本 鈴香

目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技)多様な他者と協働する様々な集団行動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思・判・表)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団行動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知・技)儀式的行事の意義を理解し、規律ある行動の仕方を身に付けることができる。 (思・判・表)学校や学年の一員として、規則正しい行動をすることができる。 (学・人)行事を節目として見通しを持ちながら、これからの生活への希望や意欲を高めることができる。	(知・技)儀式的行事の意義を理解し、規律ある行動の仕方を身に付けている。 (思・判・表)学校や学年の一員として、規則正しい行動している。 (主学)行事を節目として見通しを持ちながら、これからの生活への希望や意欲を高めようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	学期や学年の節目を迎えて(4、7月)	・1学期始業式、終業式 ・入学式
		(知・技)健康の保持増進の意義を理解することができる。 (思・判・表)自己の健康についての課題や解決策について考えることができる。 (学・人)心身の健全な発達や健康の保持増進に努め、見通しを持って取り組むことができる。	(知・技)健康の保持増進の意義を理解している。 (思・判・表)己の健康についての課題や解決策について考えている。 (主学)心身の健全な発達や健康の保持増進に努め、見通しを持って取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	健康な体をつくろう(5～7月)	・身体測定 ・耳鼻科検診 ・心電図、胸部X線検査 ・内科検診 ・歯科検診 ・視力検査
2 学期	14	(知・技)儀式的行事の意義を理解し、規律ある行動の仕方を身に付けることができる。 (思・判・表)学校や学年の一員として、規則正しい行動をすることができる。 (学・人)行事を節目として見通しを持ちながら、これからの生活への希望や意欲を高めることができる。	(知・技)儀式的行事の意義を理解し、規律ある行動の仕方を身に付けている。 (思・判・表)学校や学年の一員として、規則正しい行動している。 (主学)行事を節目として見通しを持ちながら、これからの生活への希望や意欲を高めようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	学期の節目を迎えて(9、12月)	・2学期始業式、終業式
		(知・技)事件や事故、災害などの非常時から安全に身を守ることの意義を理解することができる。 (思・判・表)安全についての課題や解決策について考えることができる。 (学・人)安全に関心を持つと共に見通しを持って振り返ったりしながら、積極的に取り組むことができる。	(知・技)事件や事故、災害などの非常時から安全に身を守ることの意義を理解している。 (思・判・表)安全についての課題や解決策について考えている。 (主学)安全に関心を持つと共に見通しを持って振り返ったりしながら、積極的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・不審者が来たらどうやって身を守る ・地震、津波が来たらどうする(10～11月)	総合避難訓練①不審者避難訓練 総合避難訓練②地震・津波避難訓練
		(知・技)心身の健全な発達や健康の保持増進、体育的な集団活動の意義を理解することができる。 (思・判・表)健全に生活するために、運動することの良さについて考えることができる。 (学・人)心身の健全な発達や健康の保持増進に努め、見通しを持って取り組むことができる。	(知・技)心身の健全な発達や健康の保持増進、体育的な集団活動の意義を理解している。 (思・判・表)健全に生活するために、運動することの良さについて考えている。 (主学)心身の健全な発達や健康の保持増進に努め、見通しを持って取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	目標に向かって挑戦しよう(10～11月)	特別支援学校体育大会
3 学期	9	(知・技)儀式的行事の意義を理解し、規律ある行動の仕方を身に付けることができる。 (思・判・表)学校や学年の一員として、規則正しい行動をすることができる。 (学・人)厳粛で清新な気分を味わい、行事を節目として見通しを持って振り返ったりしながら、これからの生活への希望や意欲を高め、儀式的行事に積極的に取り組むことができる。	(知・技)儀式的行事の意義を理解し、規律ある行動の仕方を身に付けている。 (思・判・表)学校や学年の一員として、規則正しい行動している。 (主学)厳粛で清新な気分を味わい、行事を節目として見通しを持って振り返ったりしながら、これからの生活への希望や意欲を高め、儀式的行事に積極的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	学期や学年の節目を迎えて(1、3月)	・3学期始業式 ・小、中、高等部卒業式 ・修了式
		(知・技)事件や事故、災害などの非常時から安全に身を守ることの意義を理解することができる。 (思・判・表)安全についての課題や解決策について考えることができる。 (学・人)安全に関心を持つと共に見通しを持って振り返ったりしながら、積極的に取り組むことができる。	(知・技)事件や事故、災害などの非常時から安全に身を守ることの意義を理解している。 (思・判・表)安全についての課題や解決策について考えている。 (主学)安全に関心を持つと共に見通しを持って振り返ったりしながら、積極的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	火災が起きたら何をすべき(2～3月)	総合避難訓練③火災避難訓練
総時数	35				

令和6年度 中学部 2年（Ⅱ課程） 自立活動 年間指導計画

配当時数		対象生徒		担当者	
70		9名		岸本 鈴香	
年間目標		・個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達を基盤を養う。 ・生徒の体の動きや保有する感覚、意思の表出の状態に応じて、適切な補助具や補助的手段を工夫し、有効的な活用を図る。			
学期	時数	単元・題材の目標	評価規準	内容区分、項目	単元・題材の活動内容
1学期	24		・自らの学習状況や結果に気付き、その後の学習の意欲へ繋げている。 【評価資料】学習前後の自己評価や学習の状況の観察による評価。	1 健康の保持 (1)生活のリズムや生活習慣の形成に関する事 (2)病気の状態の理解と生活管理に関する事 (3)身体各部の状態の理解と養護に関する事 (4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事。 (5)健康状態の維持・改善に関する事 2 心理的な安定 (1)情緒の安定に関する事。 (2)状況の理解と変化の対応に関する事。 (3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服すること。	
2学期	28	・自ら気付いて身だしなみや保清に取り組む。 ・活動内容やスケジュールに見通しを持ち、落ち着いて行動できる。	・自らの学習状況や結果に気付き、その後の学習の意欲へ繋げている。 【評価資料】学習前後の自己評価や学習の状況の観察による評価。	3 人間関係の形成 (1)他者との関わり方の基礎に関する事。 (2)他者の意図や感情の理解に関する事。 (3)自己の理解と行動の調整に関する事。 (4)集団への参加の基礎に関する事。 4 環境の把握 (1)保有する感覚の活用に関する事。 (2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事。 (3)感覚の補助及び代行手段の活用に関する事。 (4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事。 (5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。	「自立活動の時間における指導」の中で学習グループ全体で以下ア～ウの指導を年間を通して行う。 ア 言葉かけや視覚的な教材を活用して身だしなみや保清をする。【健(1)、人(3)】→絵カードや鏡、手順表 イ 朝の時間帯に日課の記入を行い、日程と準備物の確認をする。【人(1)(2)、環(1)、コ(1)(2)】→白板や連絡帳への記入 ウ 話したい内容を短い文章にまとめ、適切な言葉で表現できるように会話をしながら引き出す。【心(2)、人(1)(4)、コ(1)(3)】→出来事発表など
3学期	18		・自らの学習状況や結果に気付き、その後の学習の意欲へ繋げている。 【評価資料】学習前後の自己評価や学習の状況の観察による評価。	5 身体の動き (1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。 (2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事。 (3)日常生活に必要な基本動作に関する事。 (4)身体の移動能力に関する事。 (5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。 6 コミュニケーション (1)コミュニケーションの基本的能力に関する事。 (2)言語の受容と表出に関する事。 (3)言語の形成と活用に関する事。 (4)コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。 (5)状況に応じたコミュニケーションに関する事。	
総時数	70				